

(様式第7)

社会資本総合整備計画

計画の名称	3 県北観光地へのアクセス強化によるにぎわいのある地域づくり												
計画の期間	平成21年度～平成25年度 (5年間)	交付団体	茨城県										
計画の目標	豊かな自然や歴史、温泉など多様な地域資源が数多く分布している県北地域において、地域内道路の線形不良や狭小幅員箇所等の解消により、安全で快適な交通ネットワークを形成し、高速道路 I C 及び鉄道駅等の交通結節点から観光地又は観光地相互間へのアクセス性を高める道路整備と併せて、観光振興を図る施策を行い、にぎわいのある地域づくりを行う												
計画の成果目標 (アウトカム指標)	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節点 (高速道路 I C 及び鉄道駅等) と観光地及び観光地相互間のアクセス時間短縮度199 (hr/日) を達成 県北地域観光施設への年間観光客数を6%増加 												
アウトカム指標の定義及び算定式	$\text{交通結節点 (高速道路 I C 及び鉄道駅等) と観光地及び観光地相互間のアクセス時間の短縮度を算出}$ $(\text{アクセス時間短縮度: h/日}) = \Sigma [(\text{整備延長: km}) \times (\text{短縮時間: h/km} \cdot \text{台}) \times (\text{当該地点交通量: 台/日})]$		$\text{県北地域観光施設への年間観光客数を調査}$ $(\text{観光施設への観光客増加割合}) = (\text{評価時点の観光客数} - \text{当初観光客数}) / (\text{当初観光客数}) \times 100$										
	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">アウトカム指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <td>(H21当初)</td> <td>(H23末)</td> <td>(H25末)</td> </tr> </table>		アウトカム指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H21当初)	(H23末)	(H25末)	
アウトカム指標の現況値及び目標値			備考										
当初現況値	中間目標値	最終目標値											
(H21当初)	(H23末)	(H25末)											
	0.0hr/日	90hr/日	199hr/日										
	0%	3%	6%										

1. 交付対象事業の進捗状況

A 地方道路整備事業												
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	備考
3-A1	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 日立笠間線	バイパス L=0.97km	常陸太田市	
3-A2	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 日立いわき線	バイパス L=1.26km	北茨城市	
3-A3	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 阿波山徳蔵線	バイパス L=1.37km	城里町	
3-A4	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 門井山方線	バイパス L=0.76km	常陸大宮市	
3-A5	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 下検沢上小瀬線	バイパス L=1.60km	常陸大宮市	
3-A6	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 常陸太田那須烏山線	バイパス L=0.70km	常陸大宮市	
3-A7	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 里根神岡上線	バイパス L=1.30km	北茨城市	
3-A8	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 日立笠間線	バイパス L=1.60km	日立市	
3-A9	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 高萩塙線	バイパス L=0.84km	高萩市	
3-A10	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 常陸那珂港山方線	バイパス L=0.35km	常陸太田市	
3-A11	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 里根神岡上線	バイパス L=0.60km	北茨城市	
3-A12	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 笠間緒川線	現道拡幅 L=0.27km	城里町	
3-A13	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 諸沢西金停車場線	現道拡幅 L=0.26km	大子町	
3-A14	道路	一般	茨城県	直接		国道	改築	0.55	国道118号 袋田B P	バイパス L=0.50km	大子町	
3-A15	道路	一般	茨城県	直接		国道	改築	0.55	国道461号 水府里美拡幅	現道拡幅 L=2.00km	常陸太田市	
3-A16	道路	一般	茨城県	直接		国道	改築	0.55	国道461号 大子B P	バイパス L=0.60km	大子町	
3-A17	道路	一般	茨城県	直接		国道	改築	0.55	国道461号 安良川拡幅	現道拡幅 L=0.20km	高萩市	
3-A18	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 錫高野石塚線	現道拡幅 L=0.03km	城里町	
3-A19	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 八溝山公園線	現道拡幅 L=0.78km	大子町	
3-A20	道路	一般	茨城県	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 小田野大那地線	現道拡幅 L=0.25km	常陸大宮市	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	備考

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	備考
3-C1	調査	一般	茨城県	直接		調査	0.55	観光動態調査	観光施設への観光客数を調査	北茨城市 外	
3-C2	調査	一般	茨城県	直接		調査	0.55	地域活力基盤創造計画評価	中間評価、事後評価	常陸大宮市 外	
3-C3	調査	一般	茨城県	直接		社会実験	0.55	周遊バス社会実験	観光施設への観光客数を調査	北茨城市 外	
3-C4	調査	一般	茨城県	直接		調査	0.55	県北観光地周遊観光道路支援事業	交通円滑化対策調査	大子町 外	
3-C5	施設整備	一般	茨城県	直接		その他	0.55	道路防災機能改善事業	既存トンネルへの防災再放送設備の設置等	北茨城市 外	

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

- 3-C1 道路整備と観光客数の関係を調査することにより、当計画の効率的、効果的な展開を図る
- 3-C2 中間評価、事後評価を実施することにより、当計画の効率的、効果的な展開を図る
- 3-C3 道路整備と観光客数の関係を調査することにより、当計画の効率的、効果的な展開を図る
- 3-C4 県北の主要な観光地である奥久慈地域について、交通円滑化対策を検討、実施することにより、観光シーズンの渋滞緩和等が図られ、観光客の増加が期待される
- 3-C5 道路整備と一体となって整備することにより、観光客の利便性、安全性が向上し、当計画の効率的、効果的な展開が図られる

その他関連する事業

事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	備考
A'	道路	一般	茨城県	直接	国道	改築	0.55	国道461号 大子B P	バイパス L=0.60km	大子町	
	道路	一般	茨城県	直接	国道	改築	0.55	国道461号 安良川拡幅	現道拡幅 L=0.20km	高萩市	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	国道461号大子バイパスや県道下檜沢上小瀬線バイパスの整備を行った結果、交通の流れもスムーズになり、移動時間の短縮を図ることができ、定量的指標の目標は達成することができた。										
II 定量的指標の達成状況	指標 (交通結節点 (高速道路 I C 及び鉄道駅等) と観光地及び観光地相互間のアクセス時間の短縮度 (hr/日))	最終目標値	199hr/日	目標値と実績値に差が出た要因	・コスト削減等を実施し、事業の進捗が図れたため。						
		最終実績値	302hr/日								
II 定量的指標の達成状況	指標 (県北地域観光施設への年間観光客数を調査 (人))	最終目標値	(+6.0%) 11,540,538人	目標値と実績値に差が出た要因	・東日本大震災の影響を受け、観光入れ込み客数が減少。 ・なお、平成25年以降の観光入れ込み客数は増加し、平成27年には当初の平成21年並となった。 (H21 (当初) : 10,877,300人 H25 : 8,365,300人 H26 : 9,328,600人 H27 : 10,694,300人)						
		最終実績値	(-23.0%) 8,365,300人								

3. 特記事項 (今後の方針等)

今後の方針として、事業継続中の箇所は早期供用できるよう事業進捗を図る。